



帰国生の学校選び A to Z

●第50回●

一時帰国中の学校訪問時の
チェックポイント

ほとんどの州の現地校が夏休みに入りました。この機会に一時帰国し、学校訪問を計画されている方もおられるでしょう。ここでは、その際のチェックポイントについて述べさせていただきます。

まず、最良の情報収集方法として、受験予定校の学校訪問をお勧めします。受験情報誌や学校のパンフレットやウェブサイトでも情報を集められますが、「百聞は一見に如かず」です。校内での生徒の様子、施設の清潔さ、学校周辺の環境などは、実際に行ってみないと分かりません。できれば、通常授業時に訪問し、授業やクラブ活動の様子も見学させていただくとよいでしょう。

入試情報については、電話やメールにて収集することもできますが、担当の先生に直接お会いすることによって、貴重な入試情報をいただくこともできます。特に、編入学では入試情報が公開されていないので、直接お聞きすることが重要です。編入希望時期の受け入れの可能性や編入試験の科目や出題範囲などは聞いておきたいですね。

また、学校訪問は、必ずお子さんと一緒に行ってください。実際に入学する本人が、その学校のことを気に入らなければ、入学後の学校生活を謳歌することはできません。日本を離れて暮らす子どもは、日本の学校の様子をイメージしにくいので、特に自分の目や耳で確かめることが重要なのです。また、子どもが学校を選ぶ際の条件は、親とは異なるということも認識しておいたほうがよいでしょう。

お子さんを連れていくもう一つのメリットは、学校の先生との面会が、第一次面接的な意味合いを持つということです。ここでの印象がよければ、入試前に大きなアドバンテージを手に入れたようなものです。

また、受験予定校にすでに入学した知人がいる場合には、その方からもお話をお聞きしましょう。学校内では得ることのできない情報を手に入れることができます。よいことだけでなく、よくないことも知っておけば、入学後にギャップを感じることも少ないのです。

執筆者：丹羽 筆人（名古屋国際中学校・高等学校 アドミッションオフィサー 北米地域担当）

河合塾での指導経験を経て米国では CA・NY・NJ 州の補習校・学習塾にて指導。現在はデトロイトりんご会補習授業校講師。代表を務める「米日教育交流協議会」では、日本語・日本文化体験学習「サマーキャンプ in ぎふ」を実施。他に、河合塾北米事務所アドバイザー、文京学院大学女子中学校高等学校 北米事務所アドバイザー。

お問い合わせ先：E-mail nihs@ujeec.org

Phone & Fax 855-669-9300(名古屋国際)

